町政だより
福岡県筑紫郡
発行所　春日町
電話㊄1151番
印刷所　福岡印刷株式会社

国民健康保険
保険税の税率を改正

国民健康保険事業の運営については、町民各位の御協力により、社会保障の内容は逐次向上しつつあります。

特に昭和三十八年九月一日より結核精神病、世帯主の全面七割給付、低所得者の減税、その他の大改正が行なわれ、一方被保険者の増加、受診率の上昇等により診療費は増加しつつありますので、この財源不足を補うため十月八日町議会に於て一般会計よりの繰出金二〇〇万円、保険税の税率を改正することにより、二、八四八千円増額することに議決され当初予算が大幅に補正されました。

次に税率と診療費の概要を掲げ健康の保持増進をお願いします。

過去４ケ年間の医療費保険税等の推移

（39年度は見込額）

	36年度円	37年度円	38年度円	39年度（見込）円
医療費総額	22,604,895	29,421,551	37,472,402	48,800,000
一世帯当	14,793	18,539	22,641	27,415
療養給付費	12,433,727	16,428,537	21,229,950	28,800,000
一世帯当	8,137	10,351	12,827	16,235
保険税調定	6,035,450	6,965,190	10,645,230	14,000,000
一世帯当	3,959	4,389	6,432	7,777
一般会計繰入金	1,420,000	2,000,000	4,000,000	5,000,000
一世帯当	929	1,260	2,416	2,808
国庫支出金	6,366,734	8,266,974	10,653,706	13,871,000
一世帯当	4,168	5,209	6,437	7,792
受診件数÷一般保険者数受診率	314.3	325.5	335.8	400.0
年間受診件数	17,818	18,383	22,067	24,000
保険税収納率	92.9	93.2	93.9	—

昭和38年度～昭和39年度税率比較表

年度	所得割	資産割	均等割	世帯割
38年度	1.7/100	13/100	650円	960円
39年度	1.7/100	15/100	880	1,260

町政懇談会を実施計画

春日町は基礎的な地方公共団体として憲法上その存在を認められ地方公共の事務を自主的に処理する権能を有しておりますが、これらの構成は地域とそこに生活する住民からなるものであって住民の責任に於き意志の決定とその執行を行うものであります。

春日町が地方自治の本旨をたいしてその存立目的であります住民の福祉の増進をはかるために公正でしかも能率的な地方行政を行うには行政目的の周知と理解によるものでありまして、総ての行政は民主的な社会の新展開即ち住民の意見や欲度を判断してその政策サービスなどが地域住民の利益に合致し且最少の経費で最大の効果が挙がるようにしなければなりません。

町民の皆さんにとってもっとも身近かな地方行政は「知らせること」「聞くこと」により町民の「知る権利」への自覚を期待するもので本町行政の施策の大要等の報告と地域住民の意見等により皆さんの理解と協力を求めるため各小学校区ごとに町政懇談会を行うよう計画しております。（日時等は決定次第回らん文書でお知らせします）

本町がより発展するための活ぱつな世論と御協力をお願いします。

（総務課）

議会々報

第五回定例議会は十一議案が上程され十月五日開会し、同八日閉会した。

五日本会議、午前中上程議案について執行部より細部の説明を行い、午後より各派毎に質疑を行った後、町政全般についての一般質問

六日、七日、八日午前中休会し、各委員会を開き、午後三時よりの本会議で全議案を可決し閉会した。

提出議案件名

議案第五十四号　春日町議会議員の報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について。

議案第五十五号　春日町特別職の職員で非常勤のものの給与に関する条例の制定について。

議案第五十六号　春日町職員の特殊勤務手当に関する条例の制定について。

議案第五十七号　春日町消防団じゆつ金支給条例の制定について。

議案第五十八号　春日町税条例の一部を改正する条例の制定について。

議案第五十九号　筑紫郡四ケ町村租税組合規約の一部を改正する規約の制定について。

議案第六十号　昭和三十九年度一般会計補正予算について。

議案第六十一号　昭和三十九年度国民健康保険事業特別会計補正予算について。

議案第六十二号　昭和三十九年度上水道事業特別会計補正予算について。

議案第六十三号　寄附を受けることについて。（須玖公民館建築費）

議案第六十四号　寄附を受けることについて（春日町児童館併設公民館建築費）

質疑

1、五十六号議案については、手当を支給する対象範囲。
2、五十七号議案については、条文、福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約との関連。
3、五十八号議案については、他町の国民健康保険事業の経営状況と税率の比較。
4、六十号議案については教育費。
5、六十四号議案については、児童館の名称、運営管理。

一般質問

1、福岡市合併について。
2、町内の小中学校の防音工事、修学旅行の補助、学校教育の近代化について。
3、五号線の拡張、都市計画（北校区）について。
4、し尿処理場について。
5、水田、立石両部落の合併について。
6、下白水に市営住宅誘致についての町の考え。
7、その他。

（詳細は議事録に収録議会事務局に保管）

いつでも手続きができます

補充選挙人名簿の登録——

ことしの十月一日から、補充選挙人名簿の登録申出が、いつでも、できるようになりました。

いままでは、補充選挙人名簿の登録申出は、選挙のある前短期間において行われていましたので申出洩れ者、みなさんに、ご迷惑をかけておりましたが、こんどの法律の改正で、いつでも登録の申し出をしておくことができるようになり、選挙のとき選挙資格があれば、補充選挙人名簿に登録され、いままでのような不便が解消されるわけです。

具体的な手続は、つぎのようになっています。

一、補充名簿の登録の申し出ができる人は、基本選挙人名簿または、補充選挙人名簿に登録されていない日本国民で、本町の区域内に住み、年令が満二十才に達した人、または、年令が二十才以上で、本町に住所を移された人となっています。

二、提出する書類については、補充選挙人名簿登録申出書の外に、居住の事実を証明する書類として異動証明書等の提示をされ、かならず本人または同居の家族で、じゅうぶん説明ができる人が手続きして下さい。尚、申出は役場本庁及び支所にて受付けております。

中小企業者の年末資金融資制度のお知らせ

この制度は特に県内の中小企業者の年末における事業資金の需要を緩和するためもうけられたものです。

記

一、資金の種類　年末運転資金
二、貸付金額　五拾万円以内
三、貸付期間　四ケ月以内
四、貸付利率　日歩弐銭九厘（内保証料四厘）
五、受付期間　十二月十五日迄
六、申込受付先　町商工会

尚、町及び町商工会では右の融資制度以外の資金についても斡旋していますので御相談下さい。

経済課勤労係㊄一一三一
有線一四一五

家屋の調査にお伺いします
"新、増、改築は必らず受けて下さい"

昭和40年度から課税される家屋の評価調査が始まります。

これは39年中に新、増、改築された家屋の調査ですが、以前の分で調査洩れになっている家屋を含めて行われます。

ところで春日町の建築数は急増しておりまして、10月現在の過去一年間には５３７件の届出がなされております。

この調査には相当長期間となりますので、別表のような日程でお伺いすることに致しております。

調査は、使用された材質や諸設備について評点式の計算をするもので、この作業が税額を決定するものです。

このため、不在その他の理由で屋内調査ができなかったときには、実際評点数を上廻る推定評点数で課税されますので、調査員の訪問した場合にご不在だった方は必らず税務課までご連絡されるよう御注意下さい。

さきに述べたように材質などが評点数の大小を左右しますので、調査には時間を要することになりますが、お手許に建築当時に契約された工事明細書などがありましたら提示頂きますと相当時間が短縮されますので御用意下さい。

調査日程表

10月中	上白水、下白水、昇町、須玖一部
11月13日～11月30日	須玖
12月1日～12月15日	桜ケ丘、日の出、岡本
12月16日～12月27日	春日台、小倉
1月8日～1月14日	春日
1月16日～1月31日	若葉台、光町
2月1日～2月15日	春日原、千才町
2月16日～2月28日	法人　その他

秋季全国火災予防週間実施のお知らせ

秋の防火週間は十一月二十六日から十二月二日までの一週間全国一斉に実施されます。

最近火災の原因は、石油コンロやガスコンロ等の需要の増加に伴い火災も年々多くなり、しかも不注意による火災が大部分を占めています。

これから冬期火災発生期を迎えるに当り外出時は、コンロやストーブ等の使用のままにせず、安全を確かめ、未然に防火につとめて下さいますようお願いします。

福祉年金の請求時効のおしらせ

昭和三十四年に福祉年金を支給することから出発した国民年金も、ようやくことしの十一月で六年目をむかえます。県では福祉年金の請求も順調にすすみ、本年九月末で十三万人の人が請求を済ませ、支払われる金額は年間十四億円にたっしています。なお、この福祉年金を受けることができるようになってから、五年以内に請求をしないと時効にかかり、福祉年金が過去の分も、将来の分も全く受けられなくなりますのでとくにご注意ください。こんど時効にかかる人とその時期は、昭和三十四年十一月一日現在で、満七十才を越えた人、およびその時すでに、重度の身体障害者であった人、またその当時すでにご主人と死別し義務教育を終わる前の子とともに生活していた人たちです。これらの人たちで、もし、まだ請求をしていない人がありましたら、一日も早く役場厚生課社会係にお申し出下さい。電話五八局三七一四有線一三四番五

戦傷病者戦没者遺族等援護法等が次のように改正されました

一、もとの陸海軍の判任文官や従軍文官等を軍人と同様に処遇しその内縁の妻や別戸籍の父母等に遺族年金が支給されることになりました。

二、軍人、準軍人が戦地で障害を受け又は死亡した場合公務傷病とみなして障害年金が支給されていますが、今回の改正により内地にも適用され更に昭和十二年七月七日以後の事変勤務の者にも適用されます。

三、遺族一時金が新設され、次の遺族に一時金として十万円支給されます。

⑴、軍人軍属が在職期間中公務により傷病を受けこの傷病に併発した疾病で在職中又は退職後二年（結核、精神病は六年）以内に死亡したとき。

⑵、戦地に六ケ月以上勤務した軍人軍属が復員して一年（結核、精神病は三年）以内に戦地勤務の影響で死亡した時。

四、もとの軍人軍属の配偶者等が再婚をし昭和二十一年二月一日から昭和二十七年四月二十九日の間に再婚を解消した場合遺族年金が支給されます但し二度以上の再婚や死別は除かれます。五、六十才未満の父母で配偶者がなく扶養親族がないものには七一、〇〇〇円が支給されます。この改正は本年十月一日から施行されます。（社会係）

町小口事業資金の利用について

そろそろ越年資金の必要な時期も迫って参りました。町に於ては町小口事業資金の貸付を行なっていますが、其の利用状況を見ますと、まだ一般の中小企業の方々に対し趣旨の徹底を欠いている点がある様に思われますので、ここに要項を記し、今後の有意義な活用をお願いします。

記

一、申込受付　春日町商工会（役場東支所内）TEL㊄一四〇七
二、資金の種類　運転資金
三、貸付金額　拾万円以内
四、貸付期間　拾ケ月（均等償還）
五、貸付利率　日歩弐銭五厘
六、貸付条件　町内に居住する支払能力のある保証人二名

昭和四十年度小学校入学の届出を

来年小学校入学該当者で今だ町役場に届出していない保護者、又は九月十五日以降転入した者で届出していない保護者はすみやかに教育委員会事務局宛届出するようお願いします。

尚来年小学校入学対象児童は昭和三十三年四月二日より昭和三十四年四月一日までに生まれた児童であります。

若し不明の点がある場合は教育委員会事務局㊄一二一一、又は有線13～2へ問合せ下さい。

駅伝大会を十一月二十二日に行います

第十一回駅伝大会のスタート及びゴールは東小学校です。各地区間とも既に練習が始まって居り多数の参加が期待されます。各中継所の通過予定時間はつぎのとおりです。盛大な応援をお願いします。

スタート	一一時
第一中継所（大土井）	一一時一五分
第二中継所（坂口）	一一時二五分
第三中継所（春日中学校）	一一時三三分
第四中継所（上白水）	一一時四四分
第五中継所（須玖）	一一時五三分
ゴール	一二時〇六分

郷土を誇る 飾りつけや芸能を披露

第九回文化祭

本町公民館の三大行事の一つ、文化祭は九月二十七日、春日小学校で千三百人の出品者と六十余人の芸能大会出演者を得て実施した。

今年の特徴は完全に文化祭だけとし展覧会や品評会等は取り止めたこと。町内小中学校より工作、図画、書道等の初出品頂いたこと等。

各地区館とも郷土色豊かな出品が多く、中でも春日地区館は日本の農業が専ら手耕農業より近代農業に移行しようとする明治、大正期に使用した農機具を一堂に集めて現代農業のあゆみとその発展の歴史を示し、上白水、下白水両地区館では竹工品の「ワラジ」「手編」「フゴ」「水輪車」等現代生活では貴重な過去の生活文化史の一面を展示、桜ケ丘地区館では「おたふく絵」の複製出品、春日原地区館からは県展入賞外の油絵オリンピック聖火リレー」写真等が参観者の注目となり、須玖地区館よりは神話の伝承文化を誇るいろいろな展示があり、その他各地区館とも例年に無い多数の出品をそれぞれに工夫展示して頂いた。

埋蔵文化財展では須玖遺跡出土の「銅剣」「ガラス玉」「マガ玉」、竹ケ本出土の「銅ホコ」「砥石」、春日出土の「合せガメ」下白水大塚出土の「土人形」等学術上貴重な品物を陳列した。この部ではフランスの考古学者エルセフ教授が九大鏡山教授、岡崎助教授の案内で来場参観され、町内一般参観者もこの催しの意義の深さをつくづくと知ることが出来た。

又婦人学級教室ではこの一ケ年間に学んだ各学級の学習内容及び一般手芸品の展示を為し、社会福祉協議会や校場関係では行政と福祉活動の一面を展示し、これによって更に幅広い文化祭となった。

午後一時からは、公民館活動に功績があった人々及び篤行者の表彰並びに感謝状の贈呈を行い、会場の全員がわれるような拍手でその功績を讃えた。

表彰者及び感謝状を受けられた人はつぎのとおり。

※表彰を受けられた人

故 勝野修氏　井上君夫氏　広畑秀人氏　岡田嘉次郎氏　白水亀三郎氏　白水卯宗氏

※感謝状を受けられた人

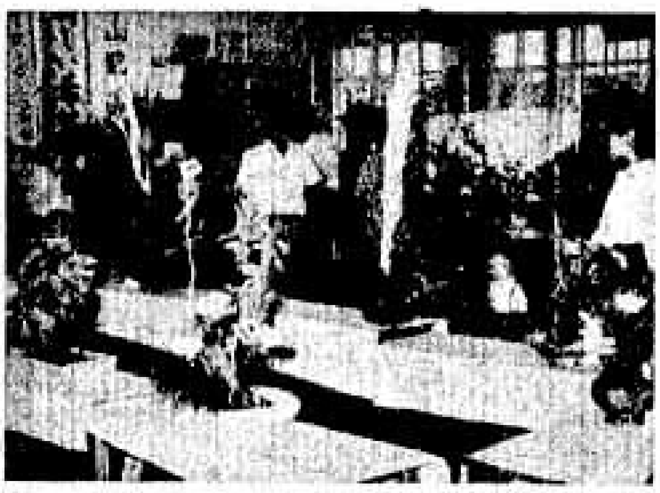
大神二郎氏　具政川朝正氏　山崎利三氏　糸山典之氏　白水数助氏　的野国助氏　遠好道氏　海繁敏氏　池田保氏　又吉長善氏

※感謝状を受けた地区（公民館の新築増築）

上白水区　下白水区

表彰式後舞台は芸能大会に移り、答一夫公民館運営審議委員長の名司会で、千歳地区館の舞踊から幕をあけ各地区館それぞれの名演が続出、最後に春日音頭を春日町婦人会各支部長のメンバーによるリードで全員が踊って午後三時四十分計画のすべてを終り閉会した。

文化祭芸能大会



文化祭出品展示

諸田をスタートする春日町第一隊

オリンピアの火 筑紫路を走る

東京オリンピック聖火リレー

秋晴れの去る九月十六日、オリンピック東京大会の聖火が、黄金色に染った筑紫路を通過したが、春日町もこの聖火リレーに両中学校区から二隊（各正走者一、副走者二、随走者二十名、計四十六名）が参加し、諸田橋から俗明院の区間、及び下水城から瓦田までの区間の二区間を担当し、全員無事走破して、大任を果し次区リレー隊に引き継いだ。

この日、県境の原田附近から、福岡にかけて、国道三号線の沿道は、一生に一度のこの「聖火」を、この目でたしかめようとする観衆でうめつくされた。

時折、報道陣のヘリコプターが飛来して、一そうの緊張感をもり立てる。

刻一刻と近づく聖火到着の一瞬に、聖火をまちうける走者はもとより観衆も肌にピリッと感じる緊張におちいっているようである。

定刻通り十二時十九分日隈陸走者から、第二区でまちうける春日町第一隊（東中校区）走者の手へ。

はるばるギリシャから十二ケ国を経て、日本へ上陸した聖火は今ここに、春日町走者の手で高々とかかげられた。

すみきった秋空に、白い煙と、オレンジ色の火が、美しく映えて、感激の瞬間を目の前にした観衆は、われんばかりの拍手を惜しみなく送った。

「おねがいします」「ごくろうさまでした」互いに挨拶を交した後、第一隊は次区早良町リレー隊へ聖火を引き継ぐ。

このあと、春日町第二隊は那珂川町リレー隊から引き継いだ春日中校区のリレー隊である。

沿道の観衆の拍手に送られて、次区の大野町リレー隊の手へ。

大任を果した、リレー隊は、どの顔も晴れ晴れとして本当にうれしそうである。十月十日、オリンピック開幕式には、最終走者坂井君の手によって、オリンピックスタジアムの聖火台に点火されるが、その一瞬の感激を、全国十万の、聖火を手にした若人の胸に、一生の思い出として永遠に残ることだろう。

創立十周年を迎えた 春日中学校

春日中学校は、昭和二十九年四月三筑中学校（旧那珂町、日佐村、春日村三ケ町村組合立）より分離独立して三筑両中学校として発足、現在の校地に十月十五日校舎が完工し、昭和三十三年四月、三筑中学校組合の解散により、名実共に春日中学校となったもの。

その間生徒の増加に伴う教室の整備強化は勿論、三十四年には屋内体育館、本年には二十五メートルプールも完成、卒業生も一九七一名を送り出している。

記念式は十月十五日午前九時より、県教育庁福岡出張所長、秋枝町長（代理）梶田議長他内外多数の来賓の出席のもと全校生徒が広い屋体を埋め尽して盛大に行なわれた。来賓各位より春日中学校十年の努力と成果に対する讃辞と並びに今後の励ましの言葉が贈られた。祝辞では、初代教頭、武井花畑中学校教頭先生の現場での苦心談、三筑組合長、現春日町公民館長、亀谷喜平氏の、学校設立、誕生の苦心談があり人々の感銘を呼んだ。閉式後文化祭に移り㈠校内音楽会、㈡演劇、㈢修学旅行記録発表、㈣電気高校吹奏楽作品陳列、理科実験、高校作品展、中初与言展、と意義深い、各種の催しが行なわれ、全校職員生徒一同の新しい十年への意欲が全校に力強くみなぎっていた。

婦人学級開催のお知らせ

各婦人学級年内計画は左記の通りです。問い合せて御出席下さい。

ときわ学級

十一月下旬　老人福祉施設見学

十二月上旬　「お正月料理」年忘れ大会　若葉

合同

若葉学級

十一月中旬　家族計画　講師家族計画普及会

十二月上旬　「お正月料理」年忘れ大会、ときわ学級合同

春日校区

十一月下旬　社会見学　新聞社及放送局

十二月中旬　青少年の育成について　第一回　児童期の心理としつけ

北校区

十一月下旬　社会見学　見学先未定

十二月中旬　青少年の育成、第一回児童期の心理としつけ

東校区

十一月中旬　遠足　内容　未定

十二月上旬　食生活の合理化、第二回、献立の立て方及お正月料理

春日原校区

十一月上旬　簡単な手芸　講師　交渉中

十二月上旬　お正月料理　講師　交渉中

お父さん方もぜひ 家庭教育学級に

九月十二日から東中学校で主として中学生の父母を対象に家庭教育学級を開設していますが、お父さん方の出席は数名です。

現代の家庭とその機能は生産手段や社会機構の進歩発展に伴って著しく変貌を為しておりますが、子供の心理的、道徳的、社会的な成長には家庭はかけがえのないものです。

「父親が家庭で家族と一緒に楽しむ傾向は近頃多くなったが、子供の将来及び現在の教育について確立した教育観を持っている人は少い」といわれています。

これからの家庭に於ける子供の教育と家庭の役割や教育観等についてのお父さん方の研修実践は子供の教育に非常に大きな役割をすることと思います。

次回は十一月十四日、進路指導の諸問題を学芸大学田島教授に講義指導頂く予定です。

「あなたのお子様が持っておられる適性を早く発見して伸してゆく」そのことが進路指導です。

学級参加希望の方は春日町教委社会教育係、又は春日東中学校池井校長先生に連絡下さい。

筑紫俳句会へどうぞ 千才公民館で開催中

千才町　蒲池　淡星

私どもの身辺には詩になるものがいっぱいあります。それを見つめて人生をうるおいのあるものに歌いあげたいものです。

ささやかながら毎月最終土曜の夜、句会を千才町公民館に集って催しつづけて参りました。菜殻火主宰者である野見山朱鳥師（直方市在住）の主唱する生命諷詠を目ざしていますが、直接には岡部六弥太氏（福岡市在住）のご指導を中心にしています。初心の方も歓迎です。ご遠慮なくお出で下さい。なおごふしんの点は次までお尋ね下さい。

春日町千才町三ノ三〇
蒲池淡星
（電話㊥二七二四）
筑紫郡大野町錦織
山崎微笑

つぎに同志の方々の作品をあげます。（八月の句会の分）

阿蘇の嶺に眠る人らに銀河炎え　六弥太
阿蘇ゆたかなる稲架に[illegible]キャンプの煙
夕焼の放牧が帰るキャンプの煙　蘭友
町長の初泳ぎ拍手一段と　とし子
バラ続ける手許な青い瞳と共に　てい子
竹売りの買切けのとる城崖中　みさ子
山に対ず分厚き文は子へのもの　三千枝
実る乾納めて女の夏終る　弥生
小説の甘さは隣い火蛾翔える　のぶ子
虫審草に我仏を拝すさわやかに　微笑
親のひぐらしすすめる比古の窓　幽香
夏落葉好き万葉の森に住む　貴代
標識を背田に納めて汝と森に　王寺

子ども会 ジュニアリーダー教室 ハイキングのお知らせ

春日町子供会ジュニア・リーダー教室は、十月の学習計画として、野外活動を組んでいたが、このほど、子供会指導者委員会に於いて各校区子供会指導者連絡会に於て、この案を検討し、来る十月二十五日日曜日、四王寺山へ行くことになった。

対象は、各地区子供会のリーダーで、小学校五、六年生以上中学生、及び指導者で、引率者があれば低学年でも参加を歓迎する。

当日は午前九時三十分、西鉄春日原駅前に集合、電車で都府楼前までゆき、それより登山コースを、四王寺山までハイクを行う予定。

その他、注意事項としては、参加者は、トレパンを着用し、弁当は各自持参してほしい。

尚、当日雨の場合、或いは前日から雨の場合は中止するが、当日集合した後に雨が降りだした場合には、春日原小学校で、レクリエーションの指導のみ行い、一緒に弁当を食べようという計画である。

四王寺山頂では、屋外ゲームの指導、及び団体行動の中から規律性を養う事を目的とする指導を行う。

参加希望者は、各地区の公民館長、又は子供会後援会長宛に申し込まれると、各地区で引率参加される。